



本事業は、SDGsの「17 パートナーシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2025年4月24日(木)  
愛知県病院事業庁管理課  
総務グループ

担当 榊原、朝日

内線 5154、5155

ダイヤル 052-954-6314

愛知県保健医療局健康医務部健康対策課  
新がんセンター整備グループ

担当 近藤、渡邊

内線 5102、5103

ダイヤル 052-954-7540

## 知事の米国渡航中の行事結果について

2025年4月14日(月)、知事は米国テキサス州ヒューストンにおいて、MDアンダーソンがんセンターを訪問し、ヴァイスプレジデントのデボラ・クバーン氏らと面談し、今後の新愛知県がんセンターの整備に向けた、愛知県がんセンターとの更なる協議の深化について意見交換を行いました。

### ヴァイスプレジデント デボラ・クバーン氏との面談

1 日時

2025年4月14日(月) 午前9時から午前10時40分まで

(日本時間4月14日(月) 午後11時から同月15日(火) 午前0時40分まで)

2 場所

MDアンダーソンがんセンター

3 面談者

MDアンダーソンがんセンター ヴァイスプレジデント デボラ・クバーン氏

4 愛知県側出席者

大村秀章知事

5 内容

大村知事は、世界で最も評価の高いがんセンターの一つであるMDアンダーソンがんセンターを訪問し、ヴァイスプレジデントのデボラ・クバーン氏(キャンサー・ネットワーク担当)らと面談しました。

始めに両者は、愛知県とテキサス州の「友好交流及び相互協力に関する覚書(MOU)」及び「相互協力声明(SMC)」に基づいて、愛知県とテキサス州・テキサス大学との間でこれまでに実施された、スタートアップ支援や青少年交流を始めとした両県州の連携の成果について話しました。

その後、2023年5月の大村知事とMDアンダーソンがんセンターのプレジデント、ピーター・ピスターズ氏との会談を契機とした、愛知県がんセンターとMDアンダーソンがんセンターとの間の過去2年間の共同研究、人材交流、共同シ

ンポジウムなどの各事業の成果について話し合い、互いに感謝の意を表明しました。

続いて、大村知事は、世界的に著名な機関との関係深化が非常に重要であるとして、MDアンダーソンがんセンターと、現在、検討を進めている新愛知県がんセンターの整備に大きく寄与しうる協議を更に深めていきたいとの期待を述べました。

これに対して、MDアンダーソンがんセンターからは、愛知県が進めている新愛知県がんセンターの整備に向けて、協議を更に進めていく旨が表明されました。

#### 【MDアンダーソンがんセンター概要】

米国テキサス州ヒューストンを拠点とする、テキサス大学傘下のがん医療・がん研究の拠点。米国 U.S. News & World Report 誌において、毎年のようにがん医療機関として全米第1位にランキングされている。

テキサス州、全米、世界の病院や医療システムと連携し、がん医療とがん研究の質の向上を図る、「キャンサー・ネットワーク」プログラムを進めている。

(2023年の基本データ)

○職員数：24,498人、病床数：760床、年間手術数：20,986件

年間総患者数：179,399人、外来患者数：約160万人

○治験数：1,568件（参加患者数：9,606人）

○予算額（医業収益）：約9,217億円



面談の様子



デボラ・クバーン・ヴァイスプレジデントとの記念撮影